

議題 1 平成 30 年度環境教育・環境学習ネットワーク会議の事業について

本日議論していただくこと

平成 30 年度の環境教育・環境学習ネットワーク会議の事業について、内容等を検討すること。

1 ネットワーク会議の開催について

例年 6 月、10 月、2 月（年 3 回）に開催しているが、時期、回数などの見直しについて、見直す必要はないか。

2 平成 30 年度相互交流を活かした人材育成講座について

(1) 環境活動者向け

- ①引き続き、対象は市民活動団体（個人含む）とし、活動者たちのスキルアップを目指す。
- ②講座は年 2 回を目標に開催する。「教育・学習の技術につながる研修（座学）」と、「環境に関する知識を深める研修（施設見学）」の 2 回構成とする。

➤ 目的

【長期的】

- ・ 経験に基づいた専門知識や地域の環境情報等を教え合うことで、環境教育の実践的な人材を育成する。
- ・ 講座の開催を通して、主体間の交流を図る。
- ・ 連携、協働実施の効果を図る。

【短期的】

- ・ 現在市内で環境教育活動を行っている市民・市民団体に、情報や学びの場を提供し、よりいっそうのレベルアップを図る。

以上のことから、講座内容については

市域の環境教育の中心的な担い手である市民活動者への講座に重点を置き、市民活動団体、地域、事業者、学校、行政等が相互に専門知識を教えあう人材育成講座を開催する内容とする。

〔座学案〕

市内で活動している市民団体は、それぞれで環境教育活動も行っている。事例を共有し、また学識者の講評を受けることで、各団体の活動における環境教育へ活かす。

テーマ：環境教育の実践事例の報告会

内 容：・学識者による講座、またはフィールドワークなどの紹介

・活動者同士の環境教育の実践事例の発表、情報交換、学識者による講評

講 師：未定（学識経験者・コーディネーター、横須賀市自然環境活動団体交流会）

〔施設見学案〕

企業や研究所などによる環境教育の紹介や、環境の取り組みを知ることで、市内における

環境活動の知識を深める。また、これまで比較的交流が少なかった、市民活動団体と企業のつながりをつくる。

テーマ：市内の環境の取り組み・環境教育事例の見学

内 容：企業や研究所における環境の取り組みの紹介と見学

平成 30 年度は港湾空港技術研究所を提案したい。

講 師：未定

(2) 教員向け

➤ 目的

- ・横須賀市の環境に関する知識を教員に深めてもらい、授業で活用してもらおう。

➤ 実施概要

- ・教育研究所と協議、連携して実施する。
- ・講座の内容については、教育研究所実施の研修との重複を避け、教員のニーズにあったテーマとするよう調整する。
- ・環境企画課は、講座の企画、講師等の手配、当日の運営を行う。
- ・教育研究所は、教員への周知、参加申し込みの受け付け、当時の総評を行う。

(3) これまでの開催内容

(別紙－1 参照)

3 平成 30 年度「よこすか E C O 通信」について

平成 30 年度の一面テーマについて

- ・これまでのテーマ一覧

(別紙－2 参照)

平成 30 年度「よこすか E C O 通信」一面のテーマ (案)

| 年度 | 号 | 発行月 | 表紙 (1 面) のテーマ | 活動団体紹介等 (3 面) |
|------|----|-----|---------------|---------------|
| 2018 | 29 | 6 | 夏の省エネ | |
| | 30 | 9 | 幼児期からの環境教育 | |
| | 31 | 12 | 食品ロス | 環境フォーラムのご案内 |
| | 32 | 3 | 横須賀の自然環境 | 環境フォーラムの結果報告 |